

PRESS RELEASE

9月11日開催！総合メディカルグループ「ファーマシーフォーラム 2022」
～全国の薬剤師が優れた取り組みや成果を発表する学術大会～

総合メディカル株式会社（本社：東京都千代田区/福岡県福岡市、代表取締役社長：坂本 賢治）は、「そうごう薬局」を中心に全国に745店舗（2022年9月1日時点）の薬局を展開しています。今年も全国の薬剤師・事務スタッフなどが参加する学術大会「ファーマシーフォーラム 2022」を9月11日に開催します。

日 程	2022年9月11日（日）9:30～15:25
開催形式	ウェビナーによるオンライン開催
テ ー マ	人をつなぐ、医療をつなぐ ～変革期に、私たちができること～
内 容	・特別講演 13:00～14:00 「地域をつなぐ薬局の役割 ～まちづくりのタネをまこう～」 帝京平成大学 薬学部薬学科 社会薬学教育研究センター 教授 小原 道子 先生 ・口頭発表 25演題 9:40～15:10 ※演題は2ページをご確認ください

本フォーラムは、1998年の第1回開催から、本年で24回目を迎えました。各薬局における優れた取り組みの発表を通じて、全薬局で共有・研鑽を積むことで、質の高い薬局づくりに役立てることを目的としています。

医療を取り巻く環境が益々厳しくなるなか、薬局・薬剤師は専門性を発揮し、より質の高いサービスを提供しながら、進化し続けなければなりません。かかりつけ機能や地域、多職種との関わり、そして“価値ある薬局の創造”について皆さまと共に考えます。

ぜひ報道関係の皆さまにもオンラインでご参加いただき、当社グループの活動をお伝えしたいと存じます。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。（一般の方のご参加はできませんのでご了承くださいませ。）

■ 口頭発表演題（薬剤師）

発表演題

- ・ステロイド外用薬に関する服薬指導の質と知識の向上を目指した指導ツールの有用性検証
- ・インスリン自己注射の抜針時の液漏れについて ～インスリン製剤の使用手技実態調査～
- ・定常状態・薬理作用を使った体調チェックのマニュアル作成とその有用性評価
- ・来局女性への妊娠・授乳の聴取に対する薬剤師の抵抗感を減らすための取り組みについて
- ・来局患者における入院時情報提供のスキームの有用性について
- ・処方提案型トレーシングレポートの記載内容と受諾却下との関連について
- ・服薬情報提供推進による医療連携強化 ～補助ツールの可能性～
- ・入院時情報提供書のフォーマット作成を通じた病院薬剤部との連携強化への取り組みについて
- ・オンライン服薬指導における課題抽出
- ・抗悪性腫瘍薬副作用評価ツールの横展開の取り組み
- ・ピロリ菌除菌療法におけるフォローアップが偽陰性を減らすことに有用か
- ・抗がん剤副作用 悪心・食欲不振に対するフローチャートの有用性評価について
- ・外来がん治療認定薬剤師育成プログラムを修了して得たこと、学んだこと
- ・薬局でのフットケアイベント実施によるフットフレイル予防への取り組み
- ・潜在的な便秘患者の実態調査
- ・高血圧・高血糖患者の経口補水液に関する認識度調査・適正使用への介入
- ・糖尿病患者に対するセルフフットケアの意識づけおよび足病変予防への取り組み
- ・透析患者のQOL向上のための取り組みについて
- ・医薬品のメーカー変更時における、「患者が求める説明」と「薬剤師が必要と感じる説明」のギャップ調査
- ・個人在宅患者の嚥下状態に関して各薬剤師の対応の現状の調査
- ・保険薬局における糖尿病患者へのインスリン手技確認に関する課題の抽出

■ 口頭発表演題（RCS（薬局事務））

発表演題

- ・南部九州運営部RCSによる地域と薬局を繋ぐタスク活動の報告
- ・ヘルプマーク・ヘルプカードの推進活動
- ・RCS中心による地域連携活動の取り組みについて
- ・生産性向上の取り組みとその成果について

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

総合メディカル株式会社 経営戦略部 広報 IR グループ

東京都千代田区大手町一丁目7番2号

TEL : 03-5255-6620